平成18年度悠久会全国総会
「北の大地に集う！　どさんこ北海道総会」
を終えて

悠久会北海道支部長　佐藤　健（電気S41）

去る7月7日に津軽海峡を初めて渡ることとなった悠久会全国総会「どさんこ北海道総会」を札幌市内のホテルで開催しました。総会出席者105名の他、懇親会110名、小樽観光37名の参加をいただきました。計画時から一体何名の方々にお越しいただけるのか想定がつかず気を揉んでいましたが、100名を超える参加をいただき大変ありがたく思っています。

当日、支部長会後の講演会は、ＪＲ北海道取締役副社長柿沼博彦氏より「鉄道の実践から学ぶ問題解決の思考法～DMVの開発～」と題して、線路と道路の両方を走る世界初の夢の乗り物DMV(デュアルモードビークル)の開発を例に、大変興味深いお話を頂戴しました。冒頭に「北海道の元気プロジェクト」として「DMVvs旭山動物園」を引き合いに出され、そしてDMVの開発を通して、発想の転換、創造性とひらめき、個性の大切さ、挑戦する意欲等の大変示唆に富んだ内容でした。

続いて全国理事・全国総会では、議事及び報告事項として、年度決算・予算、次年度以降の全国総会開催地、会則改訂、全学同窓会の発足､母校近況報告等の報告・論議がありました。

その後の懇親会では、北海道支部の中谷氏(電気電子H14)の尺八演奏によるオープニングで幕を開け、続いて支部長挨拶、内田理事長の乾杯で宴の開始となりました。歓談の合間には、毎年札幌市で開催される「よさこいソーラン祭り」で最多受賞を誇る「平岸天神」チームの踊りで盛り上げていただきました。

会の最後には、新潟大学学生歌を機械~~４０~~年卒の皆さんを中心に全員で合唱し、来年度全国総会開催となる群馬支部久保田支部長(電子　S57)の挨拶と閉めの乾杯で終了となりました。

その後は会場を移しての２次会・クラス会へ突入し、時間の経過も忘れて尽きない話に花が咲き、大いに盛り上がりました。

8日の小樽観光では、天候にも恵まれ爽やかな北海道の夏を満喫できたのではと思います。古くから北海道の商都として栄えた小樽での運河周辺散策、石原裕次郎記念館見学、そして大網元であった青山家のにしん御殿（旧青山別邸）の見学とそこで昼食を取り、札幌駅で解散となりました。

北海道で初めての全国総会に備え、少人数の支部に更に少人数の実行委員会を設置し、企画・準備の上、総力を上げて応対させていただきました。本部・先人のアドバイス、当支部会員のこれまで参加した全国総会の経験、みんなのアイディア等が結実し企画した総会が、無事にそして盛会に終えることが出来ました。

そして何より多くの方に北海道まで足を運んでいただき、道外の同窓の皆さんと旧交を温める機会を得ましたことに北海道支部会員一同より感謝申し上げます。